

2021/11/13 第94回日本社会学会大会

情報・コミュニケーション(1)

インターネット利用は 政治的「知識ギャップ」を拡げるか

辻 大介 (大阪大学)

報告の流れ

- ▽ リサーチ・クエスチョン
- ▽ 関連先行研究
- ▽ 検証課題、調査データの概要
(▽ 予備的分析)
- ▽ 分析モデルと分析結果
- ▽ 結論と今後の課題

RQ: ネット利用は政治的「知識ギャップ」を拡大?

- 「知識ギャップ」仮説 (Tichenor et al. 1970: 159f)

マスメディア情報の社会システムへの浸透が増大するにつれて、高い社会経済地位をもつ層は低い層よりも速いペースでその情報を習得するようになり、これらの層での知識の格差 (gap in knowledge) は減少するよりむしろ増大することになる

- マスメディア接触が時事問題や科学的な知識のギャップを拡大することを実証的に指摘 (とりわけ学歴によるギャップ)

Norris(2000)の「民主主義デバイド」論

- ネット時代の「知識ギャップ」仮説ともいえる
- 2nd-level digital divide 研究の文脈に位置する
 - 1st-level : 主に経済的格差と関連する問題系に注目
- ネットでは先有傾向・選好に応じた選択的情報接触がマスメディアの場合よりも容易
 - ⇒ 政治的な活発層(actives)と無気力層(apathies)の政治関与や知識の格差が増大する可能性

Bennett & Iyengar(2008)の「最小効果」説

- ① ネットは政治関心の高い層⇔低い層を二極分化
 - ・ 高/低関心 → ニュース/娯楽コンテンツ接触 → 高/低関心 ...
 - ② ネットは政治関心の高い層において、それぞれのイデオロギー的先有傾向に応じて保守⇔リベラルを二極分化
 - ・ 先有傾向を変える向きには作用しないので、「最小」効果
- ・ 現在のネット研究では②に関心が集まり、その前提段階にあたる①の過程に注目した実証研究は比較的少ない

いくつかの先行調査研究

Kobayashi & Inamasu(2015) 〈横断的調査〉

- Yahoo! JAPANの利用が娯楽指向者とニュース指向者の政治的知識ギャップを縮小

稲増・三浦(2016) 〈横断的調査〉

- ニュースアプリやTwitter利用が知識ギャップを拡大

Moeller et al.(2018) 〈縦断的調査〉

- ネットでの政治情報接触と政治関心に、正の双方向因果

本報告での検証課題

- 2018年11月(以下「T1」)と19年12月(「T2」)に実施したwebパネル調査データを用いて、
- 政治関心度および政治理解度(自己評定)と、ネットでのハードニュース接触/ソフトニュース接触とのあいだに、それぞれ正/負の双方向因果が認められるかを検証
 - NTTコムリサーチの登録モニター18~66歳 [T2時]
 - 分析対象：T2時点での2902ケース(脱落率44.1%)

分析に用いる変数

政治的洗練性 (political sophistication : Luskin 1987)

政治関心	「ふだんから政治に対して関心がある」
政治理解	「今の政治問題について、私は人並みに理解していると思う」
政治難解	「政治のことは複雑すぎて、自分にはよくわからない」

ふだんインターネットで、次のようなニュースを、どれくらい見たり読んだりしますか

ハードニュース接触	「社会・政治」
ソフトニュース接触	「エンタメ」

〈統制変数〉 性別 (男=1, 女=2)、年齢、教育年数

※ 世帯年収については欠損値が多く、政治関心等との関連も弱いので除外

(2019年全国調査データでの予備的分析)

- 18~69歳を対象に
層化二段無作為抽出
- 訪問留置回収法
- 有効回収1094ケース
(有効回収率50.6%)

➤ 詳しくは(種々の分析結果・知見を含め)右記をご参照ください

ネット社会と 民主主義

「分断」問題を調査データから検証する



辻 大介 編

やはりこの国には「分断」がある
では、いかなる意味で…?

辻 大介 編

「分断」問題を調査データから検証する

ネット研究の第一人者が集結し
社会学・社会心理学の見地から
分極化にむかう現代日本の様態を示す

有斐閣

鈴木謙介 浅野智彦
北村 智 三浦麻子
小笠原盛浩 河井大介
田辺俊介 渡辺健太郎
樋口耕一 齋藤僚介

(2019年全国調査データでの予備的分析)

〈政治関心〉を従属変数とした順序プロビット回帰の結果

	Coef.	Robust S.E.
ネット：ハードニュース接触	.262 ***	(.030)
ネット：ソフトニュース接触	-.156 ***	(.032)
TV：ハードニュース接触	.066 †	(.038)
TV：ソフトニュース接触	.022	(.032)
性別 (男1, 女2)	-.363 ***	(.068)
年齢	.023 ***	(.003)
教育年数	.065 ***	(.017)
世帯年収 (単位:百万円)	.015	(.010)

正／負の
有意な連関

テレビは連関が弱い

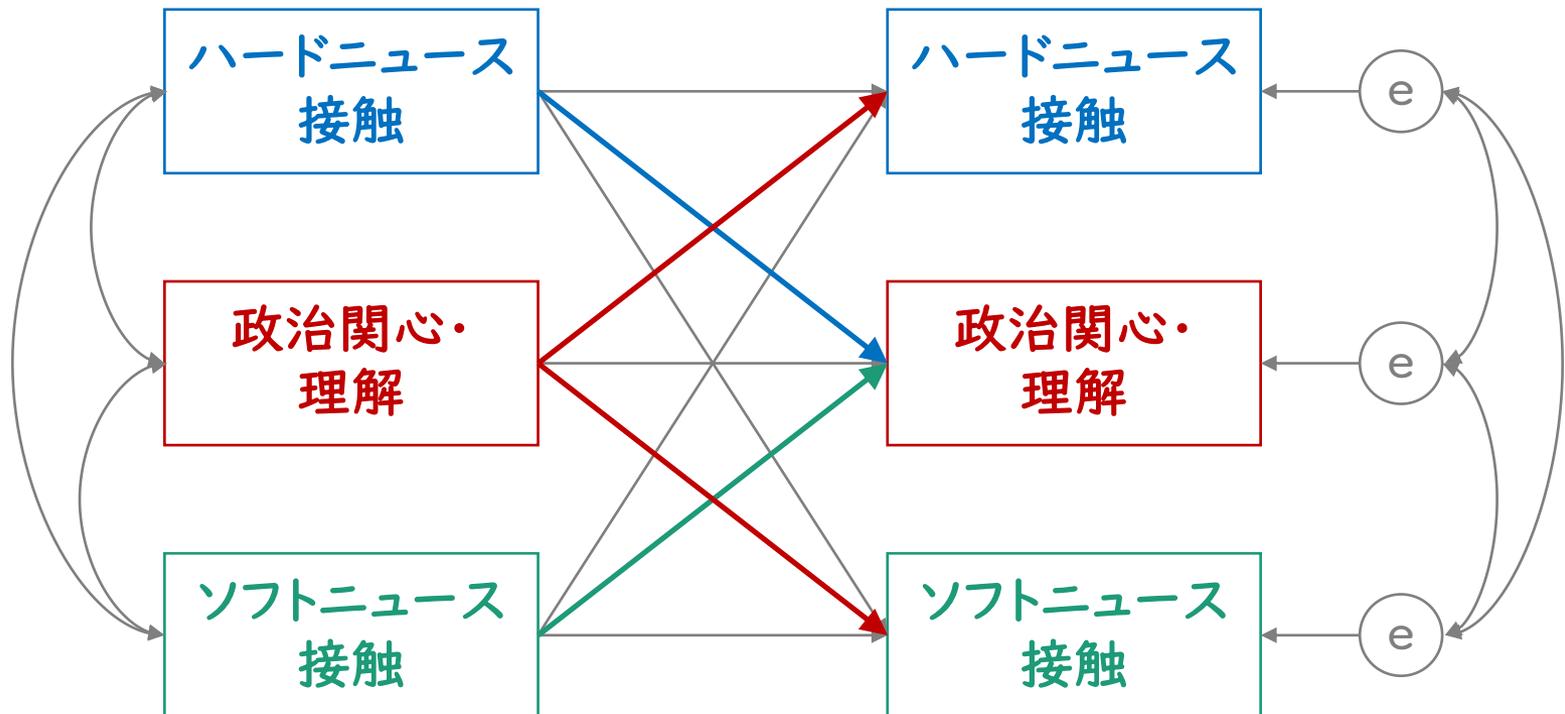
(*** $p < .001$, † $p < .10$ の有意性)

欠損値は順序ロジットによるMICEで補完 (n=1094)

交差遅延効果モデルによる分析

[T1]

[T2]

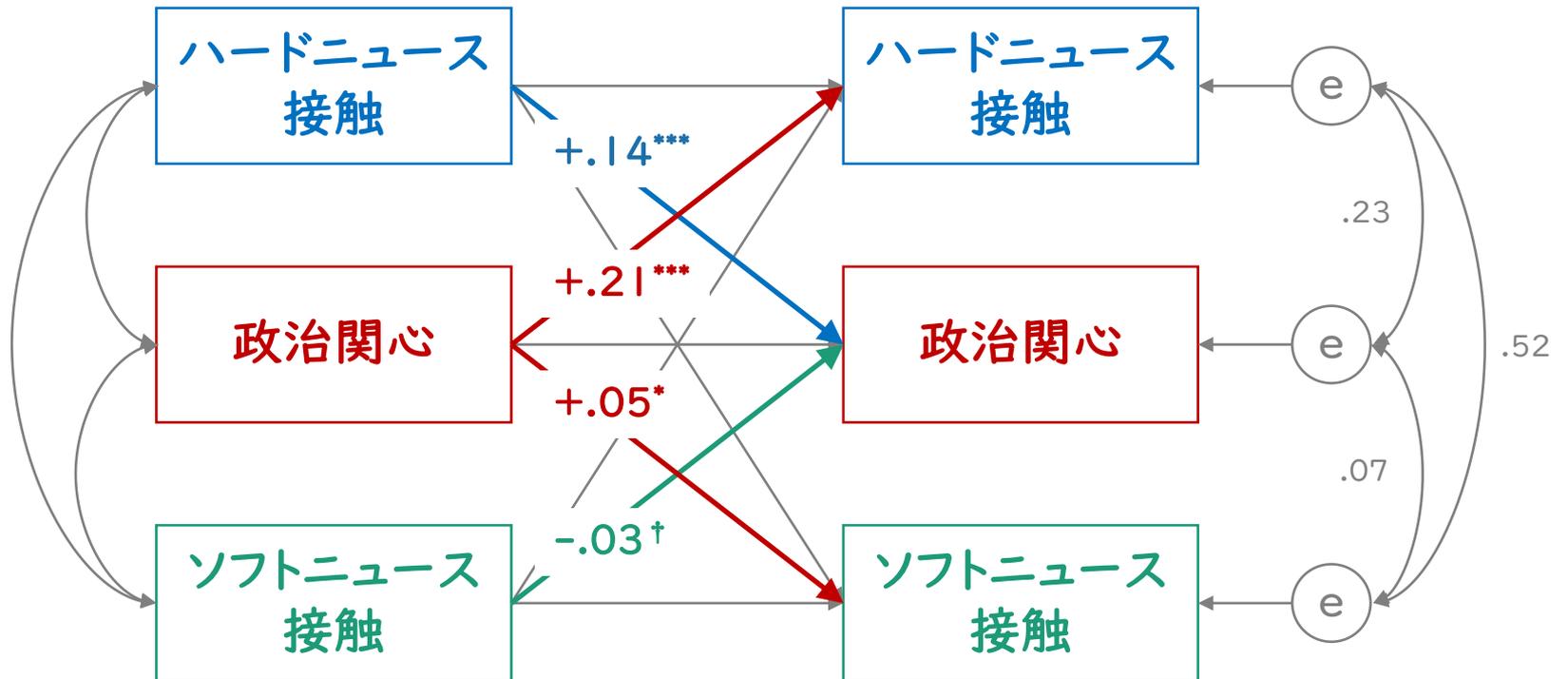


Stata 16.1のcmpコマンド(Roodman 2011)で多変量順序プロビット回帰

〈政治関心〉についての分析結果

[T1]

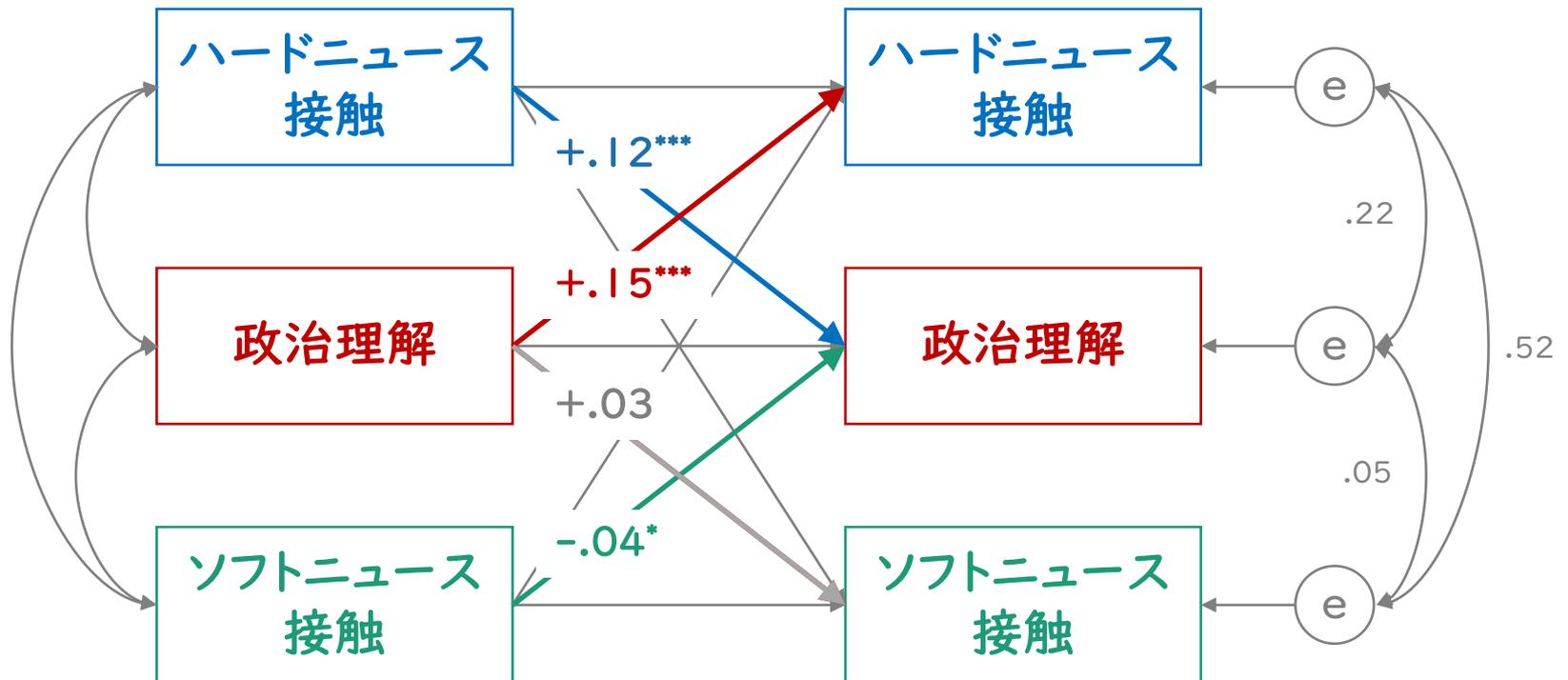
[T2]



〈政治理解〉についての分析結果

[T1]

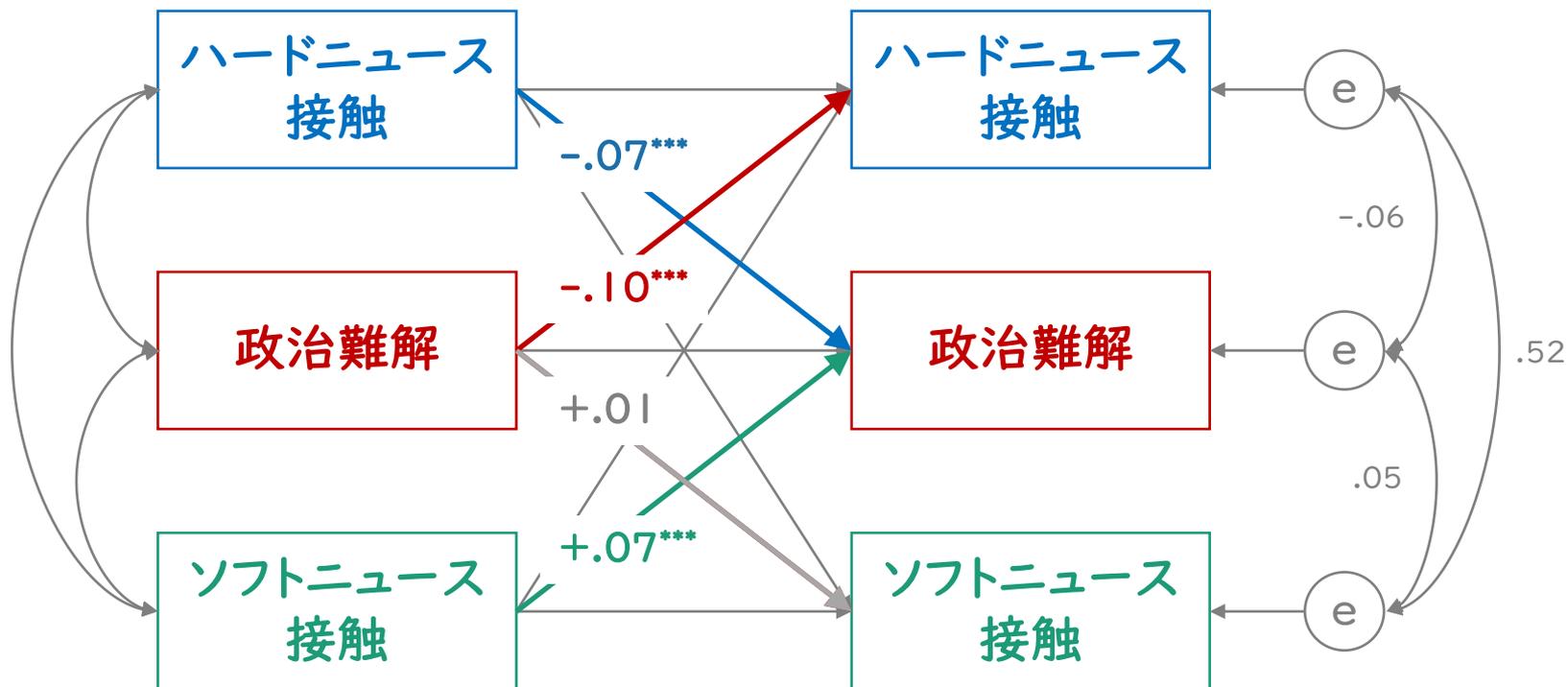
[T2]



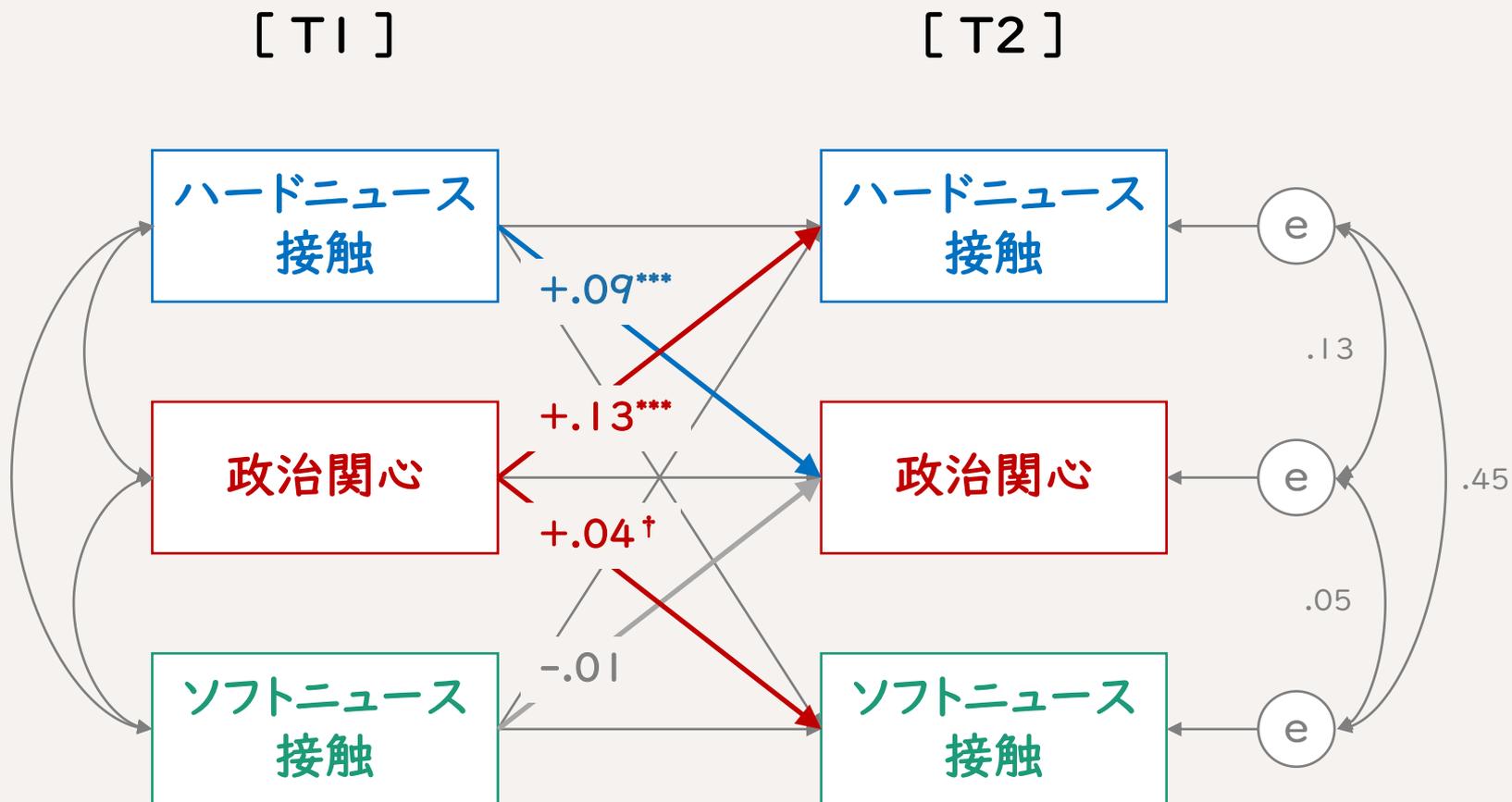
〈政治難解〉についての分析結果

[T1]

[T2]



参考) テレビでのニュース接触の場合: <政治関心>



よく似た結果になるが、係数値は下がる

結論と今後の課題

- ネットでのハードニュース接触 ⇔ 政治関心・理解

正の双方向因果 (vicious circle : Norris 2000)

○ “rich-get-richer” effects

- ネットでのソフトニュース接触 ⇒ 政治関心・理解

負の一方方向因果で、効果量も比較的小さい

× “poor-get-poorer” effects

- ネットは政治的洗練性に富める者をさらに富ます形で
政治的な活発層／無気力層のギャップを拡げる

結論と今後の課題

- 政治・政策に意向が反映されやすい層/されにくい層の格差 = 過大/過小代表(over/under-representation)の問題がネット社会で拡大する可能性を含意

✓ 今後の課題

- 無作為抽出のパネル調査データでの再検証
- (主観的自己評価によらない) 客観的指標での政治知識・理解の測定

ご清聴ありがとうございました

本報告は、文部科学省・日本学術振興会科学研究助成による
「情報環境の構造転換にともなう世論の〈極性化〉——その実態とプロセスの解明」
(課題番号18H00926、代表:辻大介)の研究成果の一部です

引用文献

- Bennett, W. Lance & Shanto Iyengar, 2008, A new era of minimal effects? The changing foundations of political communications, *Journal of Communications*, 58(4): 707-731.
- 稲増一憲・三浦麻子, 2016, 「自由」なメディアの陥穽: 有権者の選好に基づくもうひとつの選択的接触, 『社会心理学研究』31(3): 172-183.
- Kobayashi, Tetsuro & Kazunori Inamasu, 2015, The knowledge leveling effect of portal sites, *Communication Research*, 42(4): 482-502.
- Luskin, Robert C., 1987, Measuring political sophistication, *American Journal of Political Science*, 31(4): 856-899.
- Moeller, Judith, Adam Shehata & Sanne Kruijemeier, 2018, Internet use and political interest: Growth curves, reinforcing spirals, and causal effects during adolescence, *Journal of Communication*, 68(6): 1052-1078.
- Norris, Pippa, 2000, *A Virtuous Circle: Political Communications in Postindustrial Society*, Cambridge University Press.
- Norris, Pippa, 2001, *Digital Divide: Civic Engagement, Information Poverty, and the Internet Worldwide*, Cambridge University Press.
- Roodman, David, 2011. Estimating fully observed recursive mixed-process models with cmp, *Stata Journal*, 11(2): 159-206.
- Tichenor, Phillip J., George A. Donohue & Clarice N. Olien, 1970, Mass media flow and differential growth in knowledge, *Public Opinion Quarterly*, 34(2): 159-170.
- 辻大介(編), 2021, 『ネット社会と民主主義——「分断」問題を調査データから検証する』有斐閣.

付表a. 分析に用いた変数の記述統計

<i>(n=2902)</i>		<i>Mean</i>	<i>S.D.</i>	<i>Min.</i>	<i>Max.</i>
[T2]	ハードニュース接触頻度	3.440	1.521	1	6
	ソフトニュース接触頻度	2.973	1.458	1	6
	政治関心	3.197	1.031	1	5
	政治理解	3.122	0.938	1	5
	政治難解	3.223	1.030	1	5
[T1]	ハードニュース接触頻度	3.550	1.646	1	7
	ソフトニュース接触頻度	3.085	1.544	1	7
	政治関心	3.214	1.040	1	5
	政治理解	3.098	0.947	1	5
	政治難解	3.259	1.032	1	5
[統制変数]	性別 (男1, 女2)	1.496	0.500	1	2
	年齢	44.842	12.818	18	66
	教育年数 [T2]	14.675	1.943	9	18

付表b. 〈政治関心〉についての分析結果詳細

	ハードニュース接触 [T2]			ソフトニュース接触 [T2]			政治関心 [T2]		
	<i>b</i>	(<i>S.E.</i>)	<i>z</i>	<i>b</i>	(<i>S.E.</i>)	<i>z</i>	<i>b</i>	(<i>S.E.</i>)	<i>z</i>
ハードニュース接触 [T1]	0.452 ***	(0.021)	21.51	0.042 *	(0.017)	2.44	0.140 ***	(0.017)	8.38
ソフトニュース接触 [T1]	0.059 ***	(0.017)	3.48	0.526 ***	(0.020)	25.95	-0.031 †	(0.016)	-1.95
政治関心 [T1]	0.209 ***	(0.022)	9.31	0.051 *	(0.023)	2.24	0.798 ***	(0.033)	24.53
性別(男1, 女2)	-0.175 ***	(0.042)	-4.16	0.144 ***	(0.042)	3.46	-0.080 †	(0.042)	-1.87
年齢	0.010 ***	(0.002)	6.07	0.002	(0.002)	1.00	0.004 *	(0.002)	2.45
教育年数 [T2]	0.019 †	(0.011)	1.73	-0.007	(0.010)	-0.69	0.020 †	(0.011)	1.90
カットポイント (1/2)	1.679 ***	(0.205)	8.21	1.186 ***	(0.201)	5.89	1.247 ***	(0.208)	6.00
(2/3)	2.096 ***	(0.207)	10.15	1.711 ***	(0.203)	8.41	2.265 ***	(0.211)	10.75
(3/4)	2.645 ***	(0.210)	12.62	2.392 ***	(0.207)	11.54	3.723 ***	(0.219)	16.99
(4/5)	3.858 ***	(0.217)	17.75	3.522 ***	(0.216)	16.32	5.120 ***	(0.228)	22.43
(5/6)	4.998 ***	(0.227)	22.02	4.556 ***	(0.230)	19.85	—	—	—

〈誤差項間相関〉

ハードニュース接触 - ソフトニュース接触

$\rho = 0.518$ ***

ハードニュース接触 - 政治関心

$\rho = 0.230$ ***

ソフトニュース接触 - 政治関心

$\rho = 0.071$ **

(※ *S.E.* はロバスト標準誤差)

付表c. 〈政治理解〉についての分析結果詳細

	ハードニュース接触 [T2]			ソフトニュース接触 [T2]			政治理解 [T2]		
	<i>b</i>	(<i>S.E.</i>)	<i>z</i>	<i>b</i>	(<i>S.E.</i>)	<i>z</i>	<i>b</i>	(<i>S.E.</i>)	<i>z</i>
ハードニュース接触 [T1]	0.476 ***	(0.021)	22.88	0.050 **	(0.017)	2.97	0.115 ***	(0.017)	6.92
ソフトニュース接触 [T1]	0.054 **	(0.017)	3.19	0.525 ***	(0.020)	26.00	-0.038 *	(0.016)	-2.33
政治理解 [T1]	0.146 ***	(0.024)	6.14	0.031	(0.024)	1.31	0.774 ***	(0.035)	22.20
性別(男1, 女2)	-0.171 ***	(0.042)	-4.07	0.143 ***	(0.042)	3.41	-0.215 ***	(0.043)	-4.99
年齢	0.010 ***	(0.002)	6.20	0.002	(0.002)	1.06	0.006 ***	(0.002)	3.47
教育年数 [T2]	0.015	(0.011)	1.38	-0.008	(0.011)	-0.74	0.016	(0.011)	1.48
カットポイント (1/2)	1.511 ***	(0.202)	7.49	1.138 ***	(0.201)	5.65	0.778 ***	(0.219)	3.55
(2/3)	1.925 ***	(0.204)	9.45	1.662 ***	(0.203)	8.18	1.827 ***	(0.220)	8.30
(3/4)	2.468 ***	(0.206)	11.96	2.343 ***	(0.207)	11.32	3.443 ***	(0.230)	14.99
(4/5)	3.663 ***	(0.213)	17.16	3.472 ***	(0.215)	16.13	4.900 ***	(0.245)	20.03
(5/6)	4.789 ***	(0.223)	21.52	4.506 ***	(0.229)	19.70	—	—	—

〈誤差項間相関〉

ハードニュース接触 - ソフトニュース接触

$\rho = 0.519$ ***

ハードニュース接触 - 政治関心

$\rho = 0.216$ ***

ソフトニュース接触 - 政治関心

$\rho = 0.055$ *

(※ *S.E.* はロバスト標準誤差)

付表d. 〈政治難解〉についての分析結果詳細

	ハードニュース接触 [T2]			ソフトニュース接触 [T2]			政治難解 [T2]		
	<i>b</i>	(S.E.)	<i>z</i>	<i>b</i>	(S.E.)	<i>z</i>	<i>b</i>	(S.E.)	<i>z</i>
ハードニュース接触 [T1]	0.485 ***	(0.021)	23.48	0.056 ***	(0.017)	3.37	-0.073 ***	(0.016)	-4.55
ソフトニュース接触 [T1]	0.059 ***	(0.017)	3.49	0.522 ***	(0.020)	25.53	0.072 ***	(0.016)	4.39
政治難解 [T1]	-0.096 ***	(0.022)	-4.42	0.007	(0.022)	0.33	0.716 ***	(0.032)	22.52
性別(男1, 女2)	-0.168 ***	(0.042)	-3.98	0.133 **	(0.042)	3.14	0.307 ***	(0.043)	-4.55
年齢	0.011 ***	(0.002)	6.57	0.002	(0.002)	1.27	-0.004 *	(0.002)	4.39
教育年数 [T2]	0.016	(0.011)	1.48	-0.006	(0.010)	-0.61	-0.031 **	(0.011)	22.52
カットポイント (1/2)	0.844 ***	(0.214)	3.95	1.099 ***	(0.208)	5.29	0.065	(0.214)	-2.56
(2/3)	1.256 ***	(0.215)	5.83	1.623 ***	(0.209)	7.76	1.070 ***	(0.216)	-2.90
(3/4)	1.797 ***	(0.217)	8.27	2.303 ***	(0.212)	10.85	2.494 ***	(0.224)	11.11
(4/5)	2.986 ***	(0.223)	13.38	3.432 ***	(0.219)	15.64	3.721 ***	(0.234)	15.90
(5/6)	4.107 ***	(0.231)	17.79	4.465 ***	(0.231)	19.34	—	—	—

〈誤差項間相関〉

ハードニュース接触 - ソフトニュース接触

$\rho = 0.521$ ***

ハードニュース接触 - 政治関心

$\rho = -0.058$ *

ソフトニュース接触 - 政治関心

$\rho = 0.050$ *

(※ S.E. はロバスト標準誤差)